

平成
30年度

株式会社久保製作所

「全天候型（濡れないムレない）レインウェア」製造の自動縫製ライン開発プロジェクト



会社紹介

熟練工の手仕事による丁寧な“ものづくり” 活路を見出す全天候型レインウェアの開発・製造に着手



和歌山県海草郡紀美野町で雨衣の製造専門メーカーとして昭和38年に創業した「株式会社久保製作所」。60年近く雨衣ひとすじで、熟練工の手仕事による丁寧な“ものづくり”にこだわってきた。中でも評価されているのが、水産業に欠かせない雨合羽。生地と生地を溶着加工による高防水性プロ漁師向けの雨合羽で、同社の主力商品。北は北海道から南は沖縄まで、日々厳しい自然と闘っているプロの漁師の皆様に愛用いただいている。しかし近年、水産業は高齢化も進み縮小傾向。雨衣業界も、海外での生産による低価格傾向という市場背景があり、さらに高度なものづくりに不可欠な縫製技術を支える熟練作業者の高齢化も進み、厳しい状況となった。今後生き残っていくためにも、強みである独自の縫製技術を生かしつつ、新たな販路を見出す必要があり、全天候型レインウェアの開発・製造に乗り出した。

代表取締役社長 久保 真由巳

補助事業

ビジネススーツにすぐ様変わり！ 2WAY レインウェア「スグサマ」

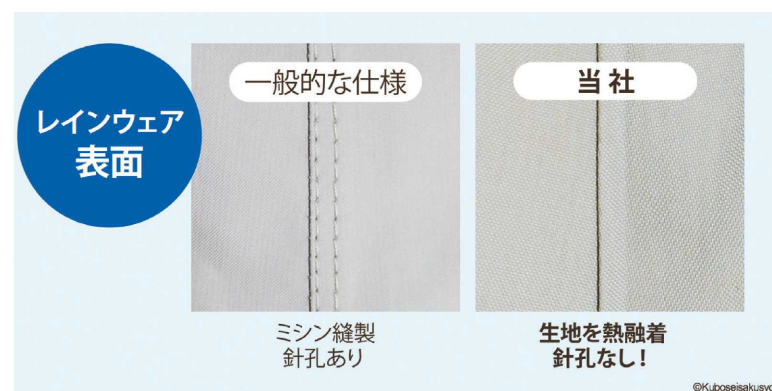
防水なのにムレずに快適、レインウェアがまるでビジネススーツにすぐ様変わる2WAYレインウェア。それが全天候型レインウェア「スグサマ」である。完全防水製品のみを製造してきた同社にとって画期的な取り組みだが、強みである溶着加工による高防水性能を保つ技術は変わらない。ただ主力である水産合羽の製造に加え、新製品を製造するためには、現行の縫製作業工程「ヒートシラーによるパーツ生地仮止め」と「高周波ウェルダによるパーツ生地溶着」を見直して効率化し、品質を保ちながら生産性を高める必要があった。そこで今回、「熱融着装置」を企画・開発した。同装置を組み込んだ「自動縫製ライン」を導入したことで、課題を解決する効率の良い一連(ライン)での自動製造が可能となった。



成果

革新的な生産システムの構築で 効率アップとコストダウンを同時追求

縫製作業工程を見直し、効率の良い工程順に連携することで実現した自動縫製ライン。生地を移動台にセット、ミシン縫製による仮縫い。続いてヒートシラーによる仮止め後、新導入の熱融着装置で生地融着。この自動ラインの導入で、人も作業時間もこれまでの半分程度と効率化を実現できた。また縫製工程を自動化したことで、熟練作業員・一般作業員に関わらず一定の品質をキープ。安定した縫製工程が可能となるため、短納期化も図れた。成果としては、縫製作業工程の効率化にはじまり、品質と生産の安定、短納期化、コストダウン、さらに熟練作業員への技術依存の軽減と、さまざまな問題を解決。効率アップとコストダウンを実現するこの革新的な生産システムにより、事業化が大きく前進した。



今後の展開

頑張るビジネスマンを応援 独自ルートで販路拡大

熱融着装置と自動ラインの開発導入により、作業効率・品質の安定などの環境がようやく整ったので、これまでの水産合羽以外に「スグサマ」をはじめとし、さまざまな全天候型レインウェアを製品化し、同社独自ルートによる販路拡大を図りたいと考えている。

会社概要

会社名	株式会社久保製作所
代表者	代表取締役社長 久保 真由巳
所在地	和歌山県海草郡紀美野町小畑83-1
資本金	3,500万円
従業員数	35名
業種	雨衣製造販売、環境衛生機器製造販売
設立年月日	昭和50年1月4日(創業昭和38年1月)
TEL	073-489-2617
FAX	073-489-4706
E-MAIL	mail@kuboseisakusyo.co.jp
URL	https://kuboseisakusyo.co.jp